

戦後80年、いま考え、進むべき道は？

戦後80年、既に太平洋戦争を経験した世代は、80才代の後半となり、当時の経験を聞く機会も少なくなりました。

世界的な大恐慌を受け、経済のブロック化、軍事ブロック化が進み、日独尹の「持たざる国」の命がけの勢力拡大（侵略）が始まりでした。

日本では、2年後の新憲法と戦後民主化により、国民主権・三権分立・男女平等などの新たなシステムが生まれ、農地解放や財閥解

体、天皇御料地の国有化などが進みました。

今、三度、軍事侵略が頻発する中、日本と私たちは何を考えなければならないのでしょうか？

凶暴な侵略行為・軍事行為に対し、世界はどう対処すべきか・・・も課題です。

敗戦直後の日本を映したドキュメンタリー（『戦後ゼロ年』を見て、一緒に考えてみましょう。）

高作正博（関大教授）にお話を伺います。

ドキュメント

関大教授

『戦後ゼロ年』と

高作正博さん 講演

日時： **8月16日(土)**

14時～16時30分

会場： **男女共同参画センター**

視聴覚室（JR吹田駅北口から
西へ徒歩10分（下図））

（資料代／ 800円）



闇市と食糧メーデー

主催

憲法9条を守り、いかす吹田の会

【連絡先】 田中 保(090-8796-3539)